



西彼中通信

【校訓】

自主・創造・敬愛

文責 校長 大串 久隆

生徒総会

6月28日に、西彼農村環境改善センターを使わせていただき、生徒総会が行われました。

生徒総会では、議案Ⅰ「生徒会活動」で、生徒会役員や専門委員会の年間の活動や重点実践事項が説明され、改めて学校の活動が生徒みんなの協力と実践で成り立っていることが再認識されました。

また、議案Ⅱ「より良い学校生活を目指して」では、西彼中学校の校訓「自主 創造 敬愛」に沿って、次の視点で問題提起がなされました。

- ① 自主性に満ちた授業はどうしたらできるか。
- ② 質の高い授業を創るにはどうしたらいいか。
- ③ 互いに敬愛し、協力し合う学級にするにはどうしたらよいか。

というものです。

これに対して、各学年から活発な意見が出されました。

例えば、「生徒が発表する機会を増やす」とか「パソコンを使った授業を増やす」「発表者に対してあいづちやうなずきなどのリアクションをして発表しやすい環境をつくる」などです。

最終的に、①②については、「授業にあった座席を工夫する。例えばコの字や班を作って意見を出し合い、全体でも共有する」③については、「生徒が教師に代わって、授業のまとめをしたり、ワークシートの解答やまとめをしたりする」というものでした。これは、本校の研究である「学びの土台づくり」と一致するものなので、生徒たちとともに、実践して、学びの質を上げていきたいと思っています。



川棚の戦時遺構めぐりに参加して(1年総合的な学習)

西彼中学校1年生では、平和学習として、「川棚の戦時遺構めぐり」を行いました。

保護者の皆さん、右の写真は何か、分かりますか？

これは、魚雷の発射試験場です。このようなものが長崎にあり、その史跡が残っていることを、私も知りませんでした。波が穏やかな大村湾を利用して、明治から大正、昭和にかけて、川棚の片島に魚雷試験場が作られ、魚雷の発射実験や魚雷の性能確認などが行われていたそうです。

戦争の加害者としての日本の責任も感じてしまう遺構めぐりでした。

また、川棚には臨時魚雷艇訓練所というものもあり、そちらも見学しました。



臨時魚雷艇訓練所は、1944年

(昭和19年)に横須賀の海軍水雷学校の分校として開設されました。軍事基地であった佐世保に近いこと、波静かな大村湾が舟艇の訓練に最適だったことが理由です。のちに、戦況の悪化に伴い、「特攻」が発案され、特攻艇「震洋」の乗組員養成所へと変わっていきました。

ベニヤ板で作られた船に、爆薬を積んで、大きな船に突っ込んでいく魚雷艇は成功率が低く、途中で故障した場合には、秘密を守るために、自らの命と共に船を沈めたそうです。訓練をしている時もつらかったでしょうし、出陣するときも、本当につらかっただろうと思います。慰霊碑には、当時の様々な場所での戦死者3,511名の名前が刻まれているそうです。

これらの学習を通して、8月9日の平和集会で、さらに、平和への思いを高めていきたいと思っています。



学校評価 保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。

評価項目	NO	評価内容	全学年				
			4	3	2	1	数値
学びに向かう姿勢の定着	1	子どもは、元気に学校へ登校している。(学びに向かう意識)	58.0%	39.2%	2.3%	0.6%	3.55
	2	子どもは、学校生活を通して、自己を成長させたいという思いを持っている。	37.5%	47.7%	13.6%	1.1%	3.22
	3	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	16.6%	54.3%	27.4%	1.7%	2.86
	4	子どもは、家庭学習を継続的に行っている。	18.8%	32.4%	30.1%	18.8%	2.51
	5	子どもは、期末テストに向けてしっかり勉強していた。	27.8%	40.3%	24.4%	7.4%	2.89
	6	学校の宿題の量は、子どもにとって適切である。(4適切 3多い 2少ない 1不要)	44.3%	13.1%	37.5%	5.1%	2.97
	7	学校は、子どもに確かな学力を付けるために、熱心に取り組んでいると思う。	27.0%	48.9%	21.3%	2.9%	3.00
	8	子どもは、読書に親しみ、たくさん本を読みたいと思っている。	10.9%	23.4%	37.1%	28.6%	2.17
一人一人を大切にしたい取組の充実	9	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に丁寧に対応している。	29.7%	55.8%	12.8%	1.7%	3.13
	10	学校は、家庭との情報の共有に努めている。学校からの情報が伝わっている。	36.6%	46.9%	15.4%	1.1%	3.19
	11	学校は、教育相談やアンケートにより、いじめの防止や早期発見・早期対応に努めている。	31.8%	56.1%	10.4%	1.7%	3.18
	12	学校は、一人一人に応じた進路指導や相談活動に努めている。	36.3%	51.5%	11.1%	1.2%	3.23
	13	学校は、一人一人の生徒に係活動等の役割を与えて、責任感や充実感を味わわせようとしている。	40.2%	52.9%	6.9%	0.0%	3.33
支持的風土の醸成	14	道徳授業や学校行事の公開を通して、子どもたちの支え合う姿勢や心の成長が見られた。	32.4%	60.1%	7.5%	0.0%	3.25
	15	学校には、生徒が安心して、学習活動に参加できる雰囲気がある。	36.0%	57.1%	6.9%	0.0%	3.29
	16	学校は、生徒の不適切な言動や行動に、速やかに指導を行っている。	32.0%	56.4%	11.6%	0.0%	3.20
	17	教師は、生徒に望ましい行動や期待する行動を示して、励ましを行っている。	34.1%	57.2%	7.5%	1.2%	3.24
	18	教師は、生徒の良い発言や考え、行いを認め、褒めている。	37.0%	53.2%	7.5%	2.3%	3.25
長崎のふるさと教育とは、“ふるさと長崎”の魅力を実感し、愛着と誇りを持ち、さらに継承発展させようとする意欲や態度、ふるさとに貢献したいという意識を育む教育です。本校では、この視点を、西彼町に置き換えて、西彼町の魅力や可能性について学び、考える学習を行っています。							
ふるさと教育の推進	19	ふるさと学習を通して、地域の魅力や特色、課題などを学んだり、これからの社会について考えたりする学習は、大切だと思う。	55.4%	42.9%	1.7%	0.0%	3.54
	20	子どもは、与えられた「ふるさと学習」の課題に協力して取り組んでいる。	29.9%	60.3%	9.8%	0.0%	3.20
	21	学校は、地域の教育資源を活用し、「ふるさと教育」にあっている。	32.0%	60.5%	7.6%	0.0%	3.24
	22	子どもは、ふるさとの現状や未来について、自分なりに考えようとしている。	21.7%	50.3%	25.1%	2.9%	2.91
校訓「自主 創造 敬愛」について	23	西彼中学校では、自主性を高める活動が行われ、生徒は自主性が身に付いてきている。(自ら考え行動する主体的な意識を持って活動することができるようになってきている。)	21.8%	63.8%	14.4%	0.0%	3.07
	24	西彼中学校では、創造性を高める活動が行われ、生徒は創造性が身に付いてきている。(より良いものを創ったり、新たなことに前向きに挑戦したりする意識が高まってきている。)	21.8%	63.8%	14.4%	0.0%	3.07
	25	西彼中学校では、敬愛を重視した活動が行われ、生徒は敬愛の心が育ってきている。(あいさつや礼儀を心掛け、人からの支えに対して感謝の気持ちを持つようになってきている。)	24.1%	62.1%	12.6%	1.1%	3.09

【学びに向かう姿勢の定着】

「学びに向かう姿勢の定着」では、保護者の皆様から見たお子様の様子をアンケートで答えてもらいました。

質問1の「子どもは元気に登校している」では、肯定的評価(3と4)が97.2%で、特に4が58%であることで子どもたちが意欲的に登校している様子が分かり安心しました。しかし、2や1と感じる保護者もいることを肝に銘じて、全生徒が楽しい気持ちで登校できる学校を目指して、頑張りたいと思います。

質問3の「子どもは、授業がわかりやすいと言っている。」で、肯定的な回答が70%ではありますが、4が16.6%であること、数値平均が2.86であることから、学校の授業改善の必要性を示していると思います。先日の生徒総会で生徒たちが出した学習対策を実践事項に入れて、生徒と共に質の高い授業を実現していきたいです。

質問4と5で、家庭学習や期末テストに向けての学習が不十分であることが示され、「家庭学習を充実させたい」と強く考えているご家庭が多いことが分かりました。また、質問6では、学校からの宿題の量が少ないと感じている保護者が37.5%いることも示され、2学期以降の対策の参考としたいと思います。どうか、ご家庭におきまして、この夏休みに、家庭での学習の行い方をお子さんと一緒に考えていただき、夏休みの課題や2学期の実力テストに向けた学習を計画的に進める手立てを打っていただきますよう、お願いいたします。

質問8の読書の習慣化は、数値が2.17と最も低く、大きな課題と感じます。これについても、子どもたちが本に親しんだり、読書の機会をつくったりする対策を講じていきたいと考えています。

【一人一人を大切にしたい取組の充実、支持的風土の醸成、ふるさと教育の推進】

「一人一人を大切にしたい取組の充実」「支持的風土の醸成」「ふるさと教育の推進」では、肯定的評価が、全体的に85%以上となっており、学校の取組を好意的に感じていただいているご家庭が多いように感じています。

ただ、その中で、質問9の「学校は、子どもや保護者の悩みや相談に丁寧に対応している。」の数値が若干低いので、生徒や保護者の要望に応えられるように、努力して参りたいと思います。実際に、夏休みに入りますとすぐに、3年生は三者面談、1・2年生は二者面談を計画しています。この1学期の様子をお伝えすると共に、お子様のより良い学校生活のことや学習のこと、将来の進路のことなど、担任とお話させていただきますよう、願います。

【校訓 自主 創造 敬愛 について】

「校訓の達成度について」では、自主、創造、敬愛ともに肯定的な評価が85%を超えてはいるものの、数値平均は3.07でした。引き続き学校においては、自主性と敬愛の精神を高め、生徒たちの創造性を伸ばす教育を推進して、この数値の向上を図りたいと思っています。

子どもたちは、学校で学んだことを家庭や地域など学校とは違うところで追体験することで、その学びの大切さを深く理解します。保護者の皆様も、家庭学習を重視くださることは、深い学びに直結すると考えています。今後とも、学校教育に対してご理解とご協力をいただくとともに、子どもたちの努力に対して賞賛と激励を賜りますよう、よろしく願います。